

選管はなぜ投票所を減らしたのか…

第2回甲賀市投票区域編成審議会

第2回甲賀市投票区域編成審議会が1月30日開催されました。審議会は市選挙管理委員会の諮問を受け、投票所削減計画について議論し答申を出すもので、区長代表や一般公募、市職員など13名で構成されています。

第1回の審議会では見直しの背景や95カ所の投票所を37カ所に削減する案について説明がされました。第2回目の今回は、類似自治体の投票区の状況、市内95投票所の現状について、事務局より報告

があり、各委員より意見が出されました。

委員からは、選挙管理委員会はなぜ投票所を減らしたいと提案しているのか、類似している自治体の投票所数が少ないからといって減らす根拠になるのか、期日前投票が増えているというが、望ましいことなのか。期日前投票所があるから、減らしても良いというロジックはどうか、高齢者、車いす、目の不自由な方など、投票所が遠くなれば、投票に行けるか心配される。その点を考え

ないといけない。タクシー使うにも、気軽に頼めるのか、市内を網羅するには相当な台数の確保が必要でないか」など、投票所削減に対する疑問の声が出されました。一方で、予算を減らすのは当然の流れ、人員・予算も考え、最適規模を検討することが必要」との意見もありました。

次回の審議会は6月下旬から7月上旬に開催予定です。投票所削減は民主主義にかかわる重大な問題です。審議の行方を見守る必要があります。

甲賀市地域情報基盤 民間へ譲渡の方向

甲賀市地域情報基盤のあり方審議会「答申」

甲賀市地域情報基盤の今後のあり方（方向性）について、地域情報基盤のあり方審議会より1月12日、市所有方式ではなく、民間所有方式を検討することが妥当であるとの答申が出されました。

答申では、地域情報基盤は、平成23年度から整備が行われてきたが、今後光ファイバケーブル等の大規模

更新による多額の財政負担が生じること、情報通信技術の大きな変化などから、地域情報基盤の管理に精通した民間通信事業者に譲渡する方法により、市民ニーズに柔軟な対応ができるとしています。

尚、民間移行に向けては様々な協議や調整が必要であり、5年程度の期間が必要とされています。

糸目・小河市議辞職

甲賀市議会の糸目仁樹議員（2期目・無党派）が1月18日に、小河文人議員（3期目・誠翔会）が1月31日に議長に議員辞職願を提出し許可されました。

糸目仁樹氏、小河文人氏はともに自民党滋賀県連の推薦を受け、4月9日投票の県議選甲賀市選挙区に立候補する予定です。

両氏の辞職により甲賀市議会（定数24）は、欠員が3となりました。

市内各種団体と要求懇談会

日本共産党甲賀市議員団は1月27日、甲賀市まちづくり活動交流センター「まる一む」で要求懇談会を開催しました。

女性、平和、業者、高齢者、医療関係など12団体から参加をいただき、市政や県政、国政等に対し多岐にわたる要望が出されました。出された要望について、2月16日から始まる3月議会、また今後の議会に反映させてまいります。



春をよぶ集い

日本共産党甲賀市委員会主催で「春をよぶ集い」が開催されます。小西きよつぐ前甲賀市議、清水ただし前衆院議員がお話をします。ぜひご参加ください。

・2月23日(木・祝) 午後3時～

・信楽開発センター

清水ただし前衆院議員



小西きよつぐ前甲賀市議

県議選甲賀選挙区 日本共産党躍進

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2023年 2月 5日 第436号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
TEL 62-3044
Fax 62-3044